新日軽カーポート "エクジスフォー" 取付取扱い説明書

取説番号 ME-1104
改-8

●新日軽の製品をお買上げいただき誠にありがとうございます。
●正しい施工をしていただくため当説明書をお読みください。
●積雪地方でのご使用は避けてください。
●強風時には補助柱をご使用ください。
●埋設物（ガス管・水道管）の有無を確認の上、柱位置を設定してください。
●サイドパネルをお取付けいただく場合は、サイドパネル用柱の梱包内取付説明書を先にご覧ください。

■ 工事店様へのお願い

● 新日軽のアルミ製品は、ＪＩＳの表面処理規定を、十分クリヤーした製品をお届けしていますが、取扱いによっては異状腐食をおこし思わぬトラブルとなりますので、施工にあたっては次のような点を注意してください。

（1）モルタルに**海砂**を使用されますと、塩分が多量に含まれていますから腐食の原因になりますので、その使用を避けていただくか、十分水洗いしたものを使用してください。

（2）モルタルやコンクリートの**抽出液**が工事中にアルミ製品の表面を流れないように注意してください。
抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になります。

（3）モルタルやコンクリートの**急結剤**は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものを使用してください。

（4）施工時にアルミ製品の表面に**付着したモルタルやコンクリート等**は速やかに清掃してください。また、表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので取扱いには十分注意してください。

（5）アルミ製品と**銅板やラス等**の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合にはビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。

（6）腐食の恐れのある**接着剤や化学薬品**を施工上使用する場合は、アルミ製品と接触しないようにしていただくか、接触する部分を完全に養生してください。

● みだりに改造等の仕様変更は避けてください。
● 施工終了後、説明書は施主様へお渡しください。

■ 施工上の注意

● 商品の施工については必ず取付説明書に従ってください。
また、施工完了後に説明書を施主様へお渡しください。
●カーポートには一般地域用や積雪地用などがあります。設置する地域の気象条件に合わせて、適応したものをご使用ください。
● 屋根の雪などが落下の恐れのある場所、または強風が屋根を吹き上げる恐れのある場所への設置はしないでください。
● カーポートを傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
● シャッターボックスや庇の下には設置しないでください。離して設置していただくか、逆側に水勾配をつけるようにしてください。

■ 安全にお使いいただくために必ずお守りください。

お願いしたいこと…この取扱い説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

絵　表　示	意　　味
⚠注意	この絵表示を無視して、取扱いを誤ると使用者が損害を負う危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。

注意事項……

⚠注意
● 積雪が20cmを越える前に雪下ろしをしてください。
○ 屋根が雪の重さでつぶれ落ちる危険があります。

⚠注意
● 強風時、片側支持式カーポート、自転車置場をご使用されている場合は、補助柱（別売）を付けてください。
○ 当製品は地上設置高さ5m以下（1階設置）、風速30m／秒に耐える仕様となっています。
常時風当たりの非常に強い場所（崖縁等）、または軟弱地盤での設置は避けてください。

⚠注意
● 当製品は簡易型車庫、自転車置場、渡り廊下です。物置き、遊び場、或いは生活の一部等への転用を目的として、みだりに改造、変更をしないでください。

■ 規格・拾い出し表

製品名称		単体						連棟						
		L51						L102						
		D27	D30					D27	D30					
柱	H：20用		〔1〕						〔1〕					柱(4)
	H：24用		①						①					
梁	H：27用	1						2						梁(2)
	H：30用		1						2					
側枠・たる木	L：51用	1						1						側枠(2)　押え材(8)　たる木(6)
			1						1					
連棟たる木	L：51用							1						連棟たる木(1)　押え材(8)　たる木(6)
									1					
奥行材セット	L：51用	1	1					2	2					後枠(2)　母屋(3)　たて樋(3500、1)
標準部品箱		1	1					1	1					部品一式
連棟部品箱								1	1					部品一式
屋根葺材	D：27用 3枚													(3)
	D：27用 4枚													(3)
	D：30用 3枚													(4)
	D：30用 4枚													(4)
梱包数合計			7						14					

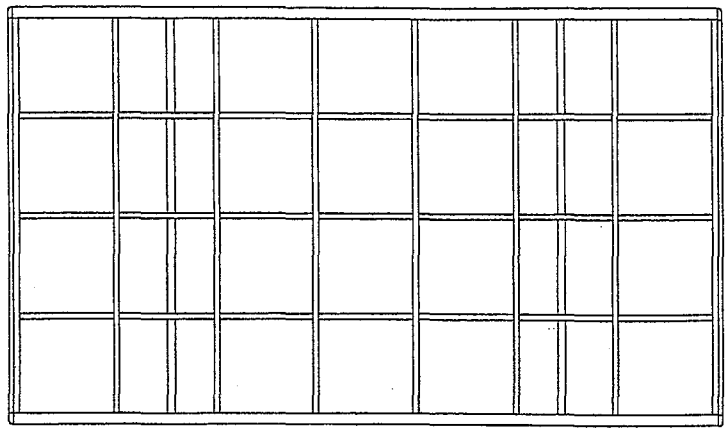
注）標準柱使用時には（ ）内を、長柱使用時には○内を拾い出してください。

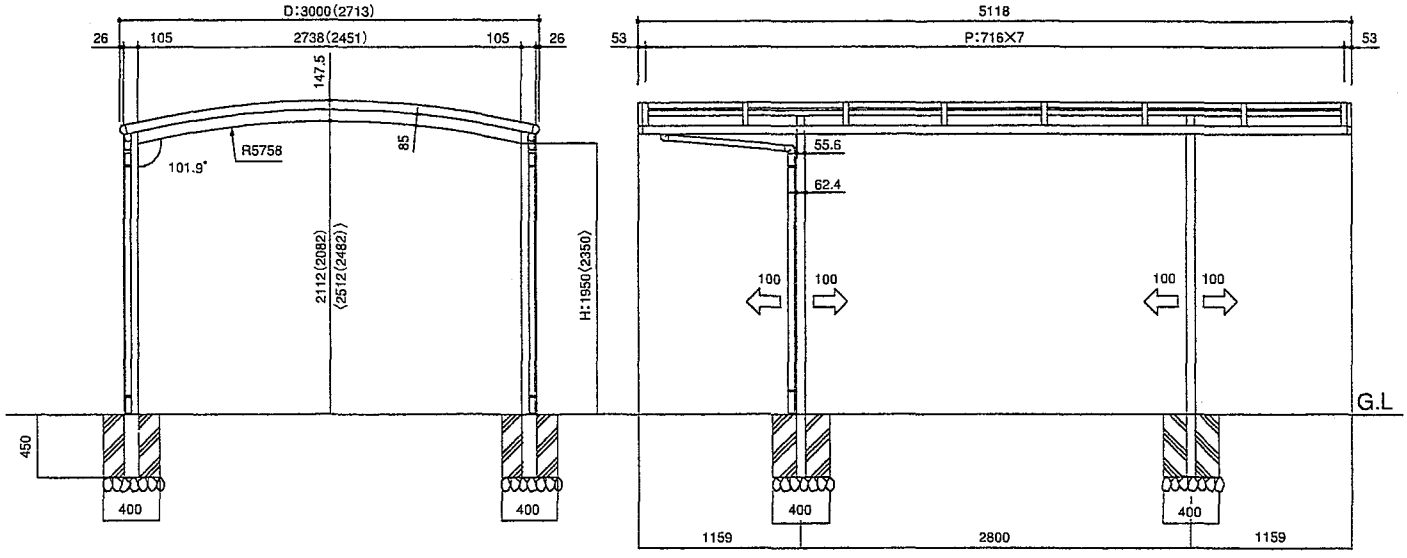
■ 部品箱内容明細

用途	部品名	製品色区分 C	製品色区分 S			標準部品箱	連棟部品箱	備考
		・色区分						
	取り扱い説明書	＊N	＊N			1		
	施主向け取り扱い説明書	＊N	＊N			1		
1 柱の施工	アンカー棒	＊N	＊N			4	4	
2 梁の取付け	M8×16六角セムスボルト	＊K	＊K			16	16	
	前後枠ピース	＊S	＊S			4	4	
	φ4×12トラス（タッピン3種）	＊S	＊S			9	9	
3 止水パッキンの取付け	止水パッキン	＊N	＊N			4	4	
	コーキング剤	＊C	BL			1	1	
4 後枠・母屋の取付け	M8×20六角ボルト	＊S	＊S			4	4	
	M8用フランジナット	＊S	＊S			4	4	
	横材ブラケット	＊S	＊S			6	6	
	φ4×12トラス（タッピン3種）	＊S	＊S			13	13	
5 側枠・たる木の取付け	φ4×9ビアス	＊S	＊S			45	45	
	枠キャップ ℞	＊C	BL			℞各2		
連棟用	前後枠連結ブラケット	＊C	BL				2	
	母屋連結ブラケット	＊N	＊N				3	
	M8×14六角ボルト	＊K	＊K				8	
	M8用平ワッシャー	＊K	＊K				8	
	M8用スプリングワッシャー	＊K	＊K				8	
	M8用六角袋ナット	＊K	＊K				8	
	M4×12トラスビス	＊K	＊K				13	
雨樋取付け用	雨樋部品セット	＊K	BL			2	2	

■ エクジスフォー単体姿図

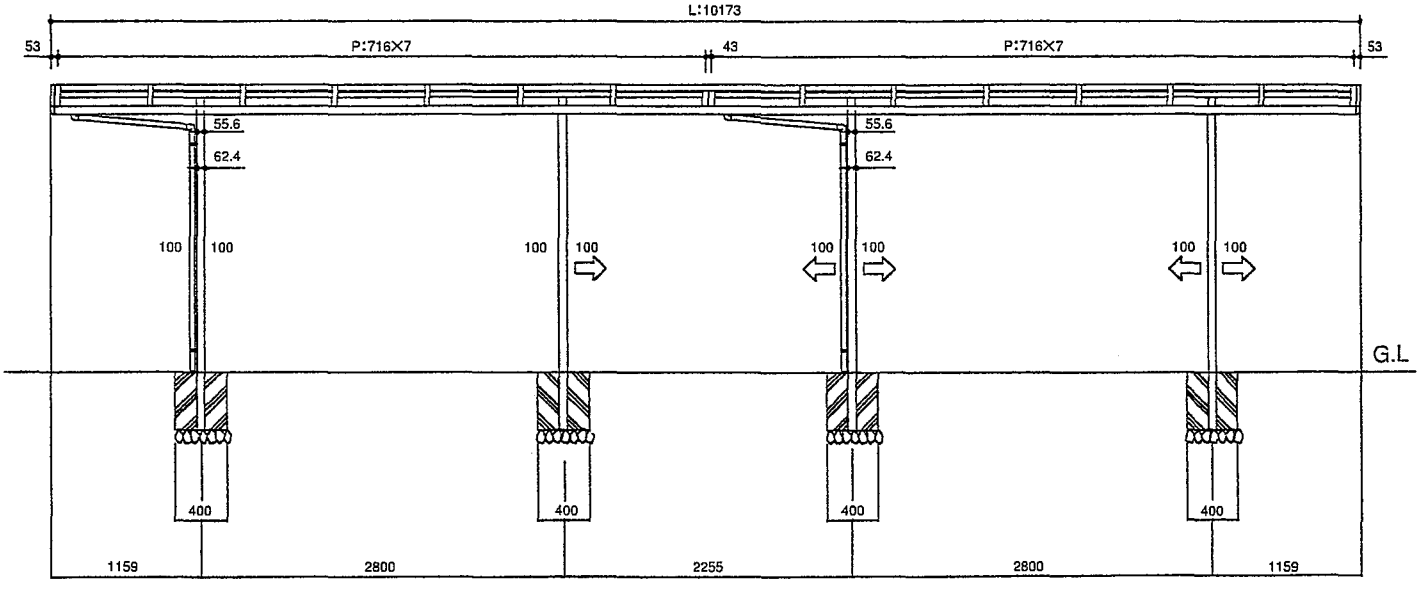
○ 本図はD：30タイプを示す。
○（ ）内寸法はD：27タイプ、〈 〉寸法は長柱タイプを示す。
○ ⇨印は柱移動範囲を示す。





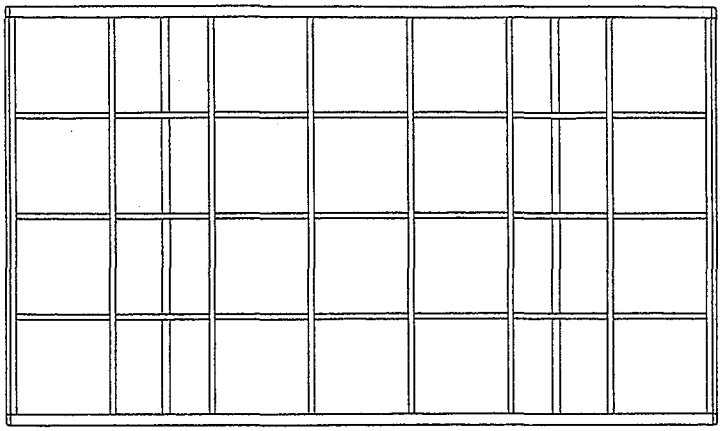
■ 連棟タイプ

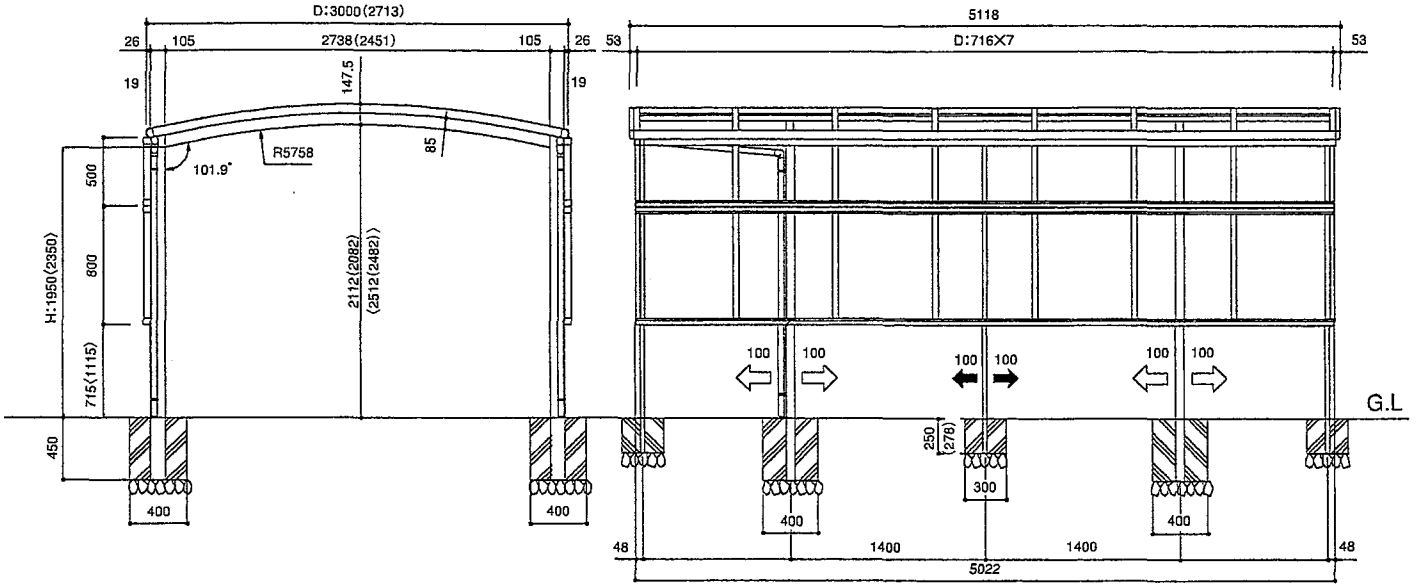
○ 本図はD：30タイプを示す。
○（ ）内寸法はD：27タイプ、〈 〉寸法は長柱タイプを示す。
○ ⇨印は柱移動範囲を示す。



■ エクジスフォー　サイドパネル2段仕様（H：13）

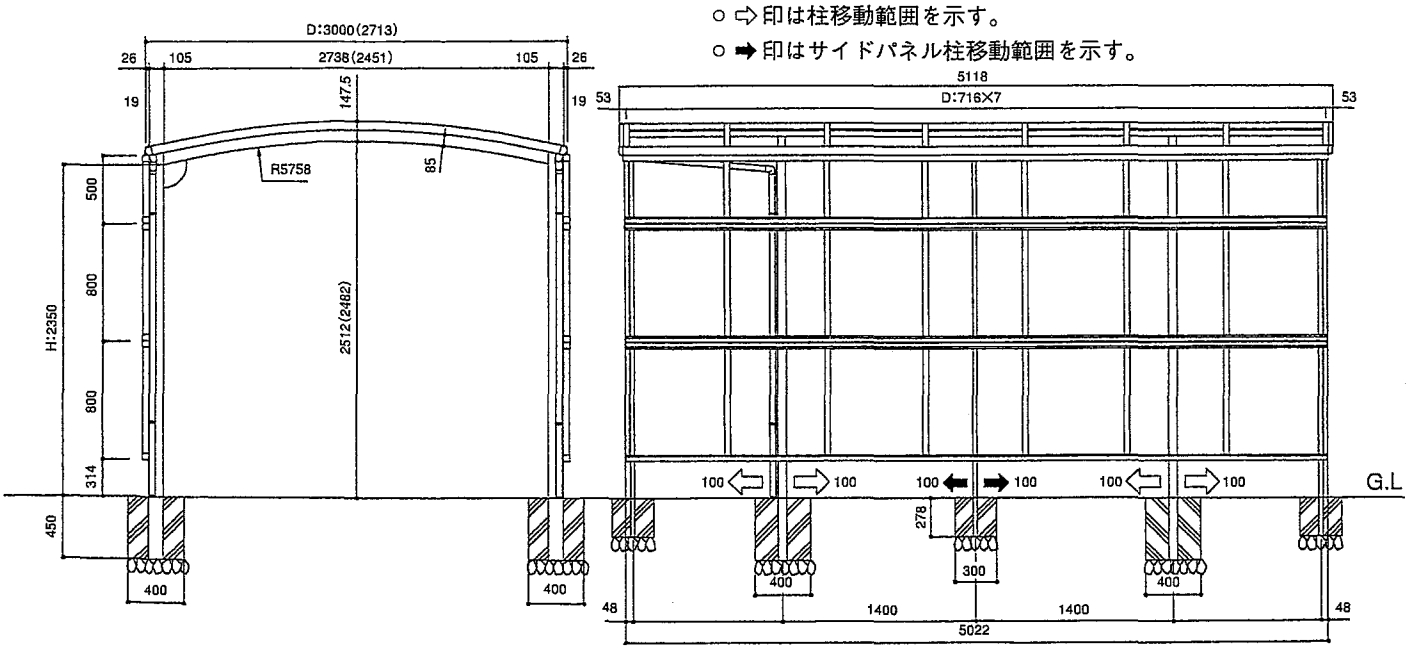
○ 本図はD：30タイプを示す。
○（ ）内寸法はD：27タイプ、〈 〉寸法は長柱タイプを示す。
○ ⇨印は柱移動範囲を示す。
○ ➡印はサイドパネル柱移動範囲を示す。





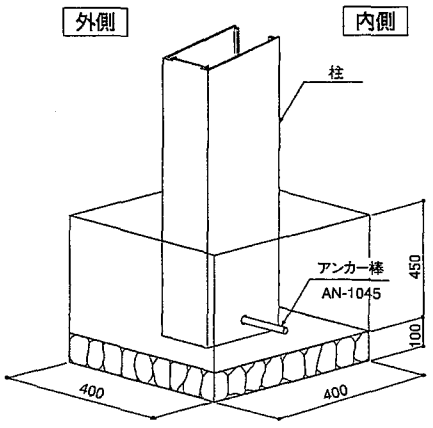
■ サイドパネル3段仕様（H：21）

○ 本図はD：30タイプを示す。
○（ ）内寸法はD：27タイプ。
○ ⇨印は柱移動範囲を示す。
○ ➡印はサイドパネル柱移動範囲を示す。

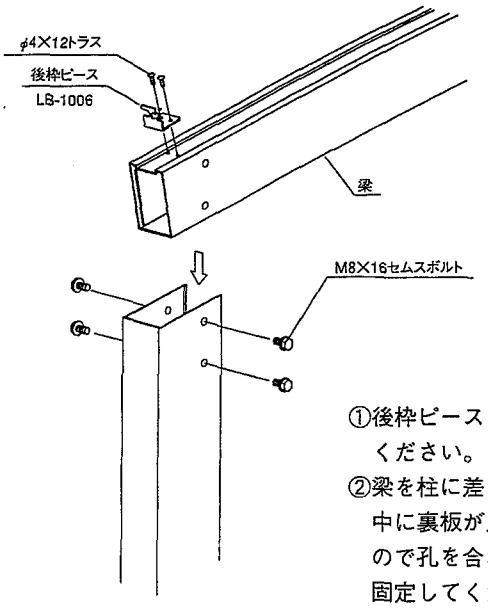


1 基礎の施工

①屋根に水勾配をつけて施工してください。
②コンクリートの施工は、骨組み完了後に行なってください。
③柱の固定位置は納まり図を参照してください。
④必ずアンカー棒を使用してください。
⑤基礎寸法及び埋め込み寸法は、図の寸法以下にならないように施工してください。
⑥柱の移動は範囲を守ってください。



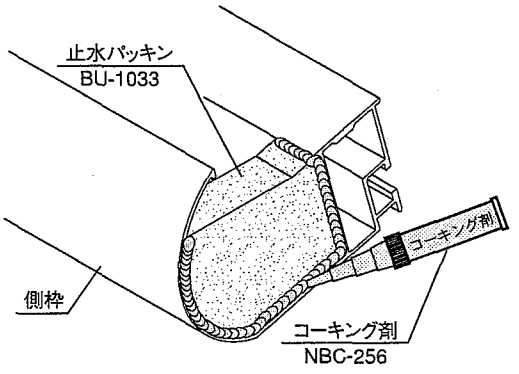
2 梁の取付け



①後枠ピースを取付けてください。
②梁を柱に差し込み、梁の中に裏板が入っていますので孔を合わせボルトで固定してください。

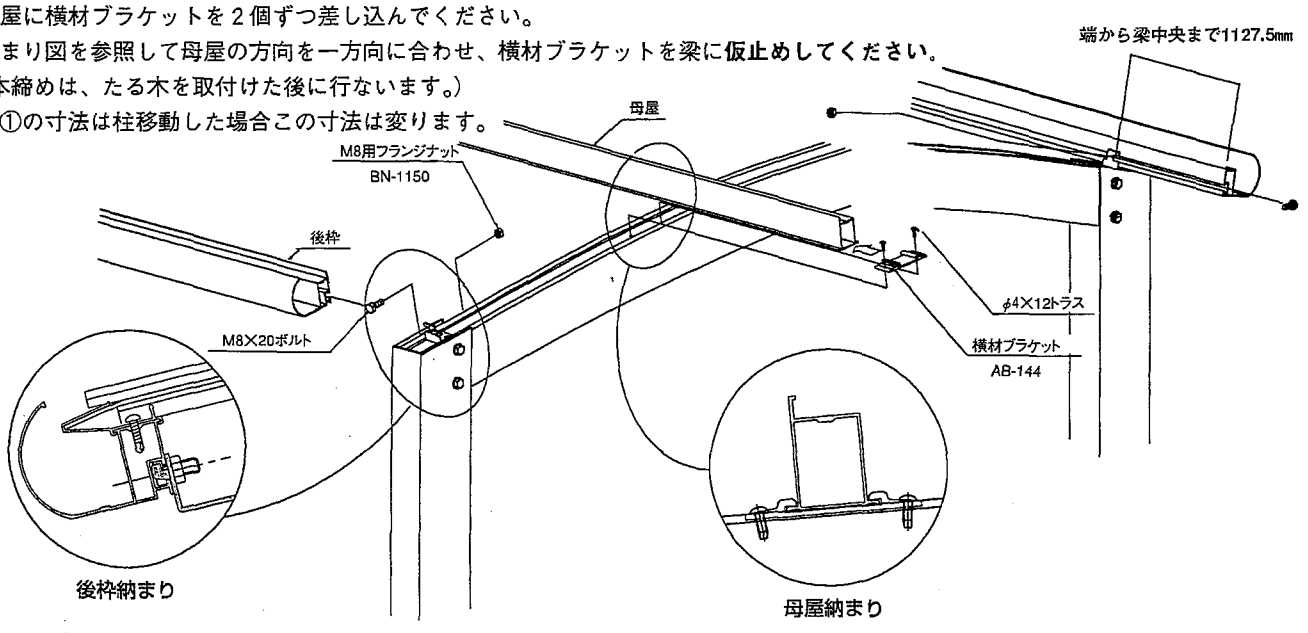
3 止水パッキンの取付け

①図のように止水パッキンを取付け、コーキング剤を充分に施してください。
コーキングが不充分ですと雨漏りの原因となりますので注意してください。
②後枠に落し口と塞ぎ材を取付けてください。(7 雨樋の組立参照)



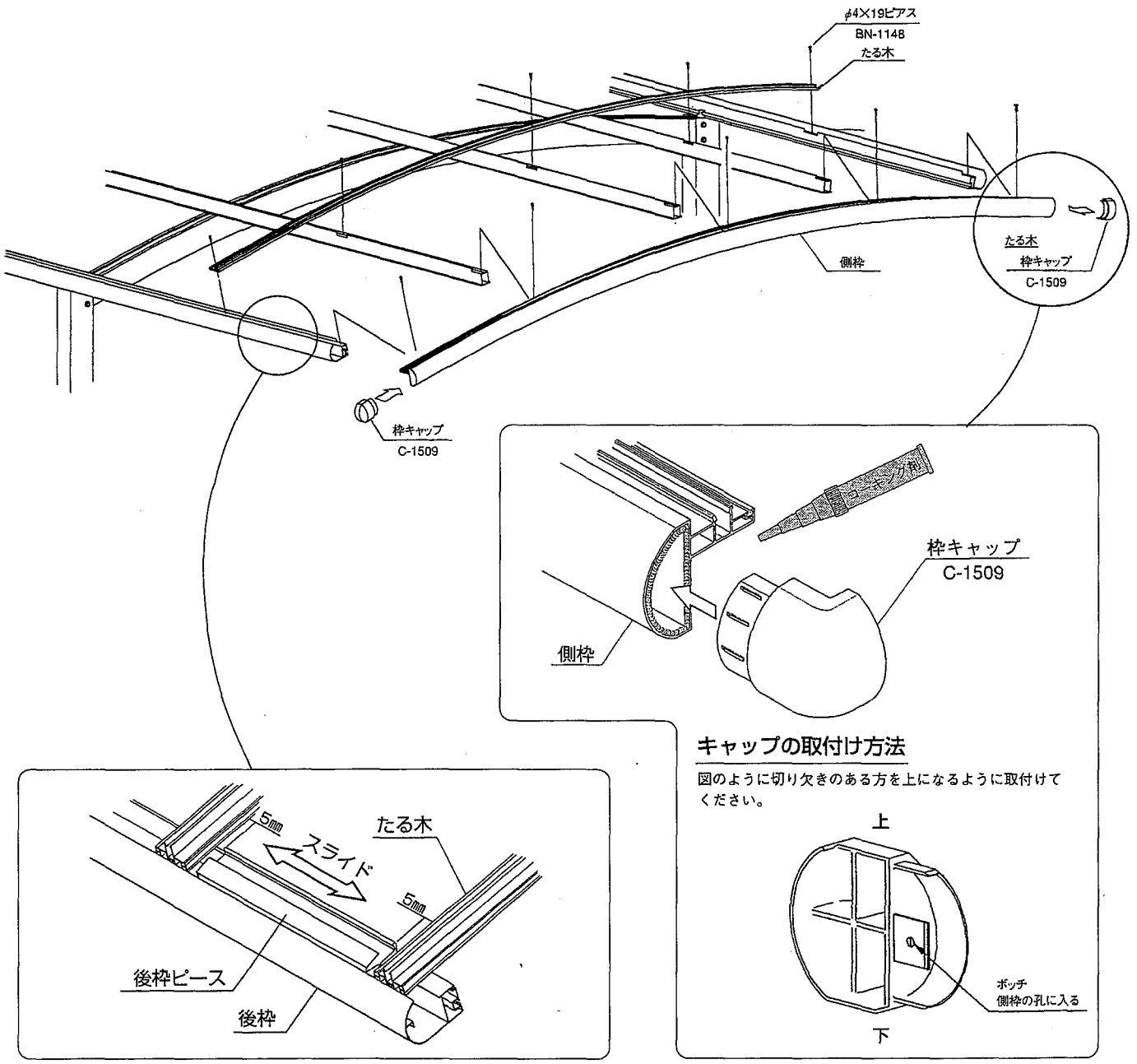
4 後枠・母屋の取付け

①後枠に枠の中心（標準納まり、後枠端部より 1127.5 ㎜）に罫書くなどして位置を出してください。
②後枠にボルトを通したあと梁に取付けた後枠ピースに、①で罫書いた線を合わせナットにて固定してください。
③母屋に横材ブラケットを２個ずつ差し込んでください。
④納まり図を参照して母屋の方向を一方向に合わせ、横材ブラケットを梁に**仮止めしてください。**
（本締めは、たる木を取付けた後に行ないます。）
注）①の寸法は柱移動した場合この寸法は変ります。



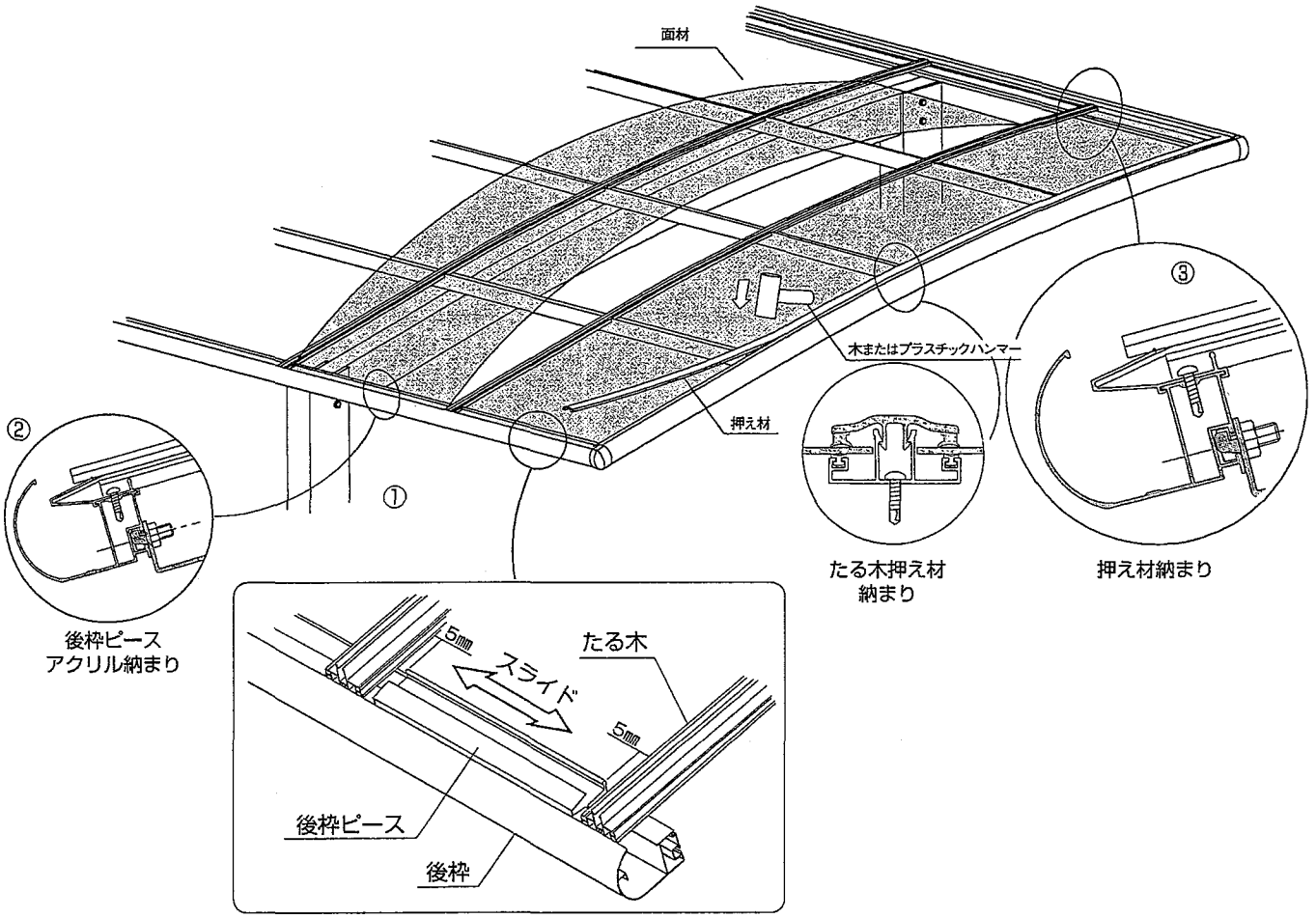
5 側枠・たる木の取付け

①側枠の両側に前後枠キャップを取付けてください。**キャップには左右があります。**
図のように切り込みのある方を上にしてキャップのボッチが側枠の孔に入るよう取付けてください。
②たる木を両後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部を合わせビス止めしてください。
後枠は後枠ピースがスライドしますので、後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔に
ビス止めしてください。
③側枠両端にキャップが付いているか確認し、側枠を取付けてください。
④横材ブラケットを本締めしてください。
⑤対角、垂直を出してください。



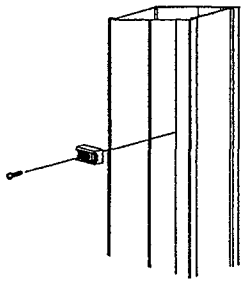
6 面材及び押え材の取付け

①後枠の後枠ピースをたる木とたる木の真中に来るよう調節してください。
②面材は後枠ピースに差し込んで、**両端5㎜ずつすき間をあけて取付けてください。**
　注）温度差によって面材の伸び縮みが多少生じる場合があります。
③押え材は後枠雨樋立ち上がりより9㎜すき間をあけ、木またはプラスチックハンマーでたたき込んでください。
　途中浮いている所がないよう確認しながら行なってください。

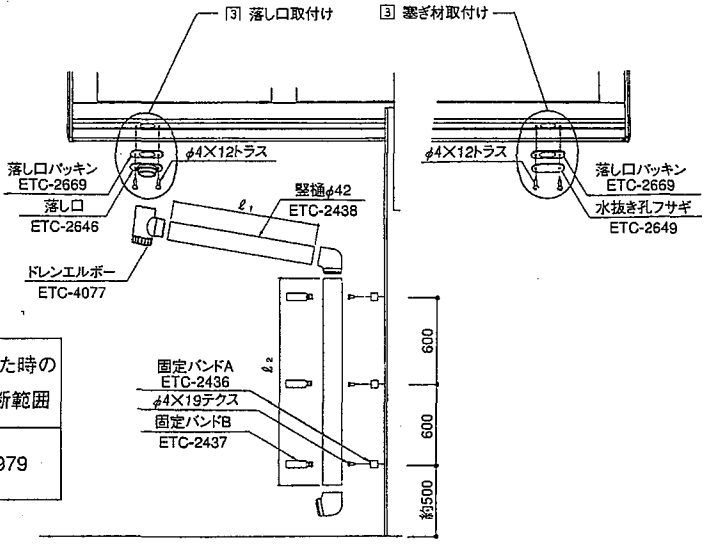


7 雨樋の組立て

①竪樋の長さ（ℓ_1、ℓ_2）は現場に合わせて切断してください。
②雨樋は仮組みしてから接着剤を使って組み立ててください。
③使用しない側の孔には水抜き孔塞ぎを取付けてください。
　注）横樋（竪樋の横方向部分）は勾配をつけてください。
　注）固定バンドは図のように柱の溝にテクスビスで止めてください。



柱標準位置でのℓ_1	柱移動した時のℓ_1の切断範囲
879	779～979



A 連棟部の組立て（連棟タイプのみ）

注）横材の切詰めは必要ありません。

①右図のように母屋連棟部にϕ 6 の孔を 4 箇所あけてください。

②本体説明の 1 基礎の施工、2 梁の取付け、3 止水パッキンの取付けを行なってください。

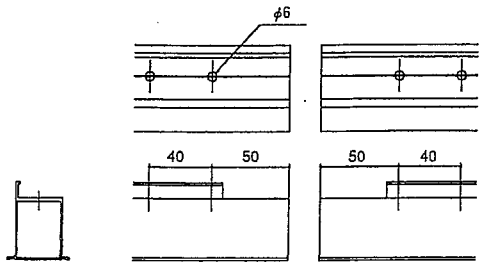
③後枠を梁に仮止めしてください。

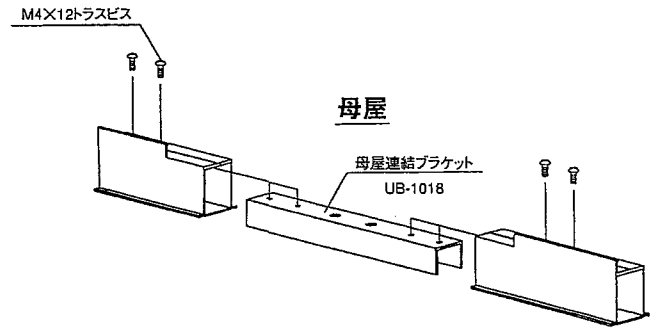
④図を参照して、横材を連結してください。

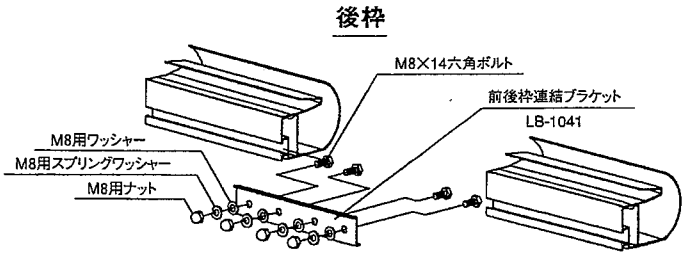
注）後枠連結ブラケットには上下があります。図を参照して取付けてください。

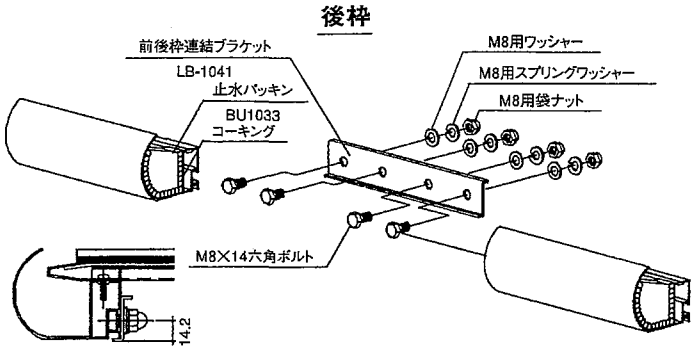
⑤連棟たる木を取付けてください。

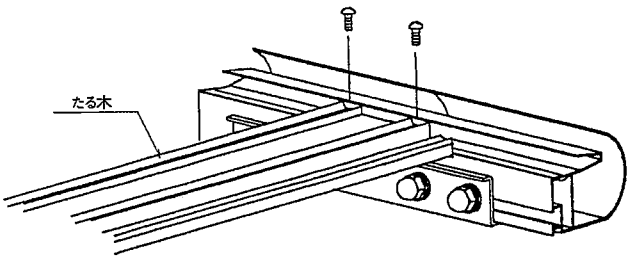
⑥本体説明の 5 側枠・たる木の取付け、6 面材及び押え材の取付けを行なってください。





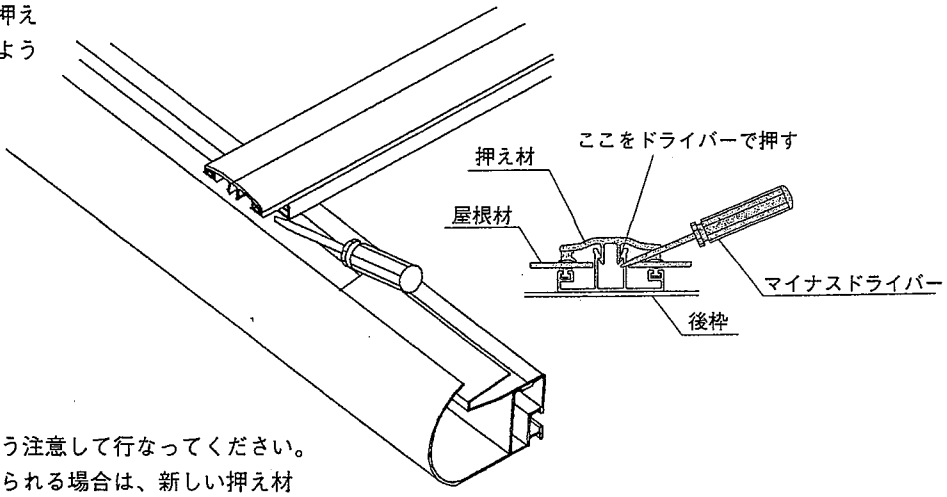






B 屋根葺材の補修方法

・図のように、後枠から押え材とたる木の間にマイナスドライバーを差し入れ、押え材のツメを押しながら上に持ち上げるようにはぎ取ります。



・押え材が途中で折れることのないよう注意して行なってください。

・一度折れ曲がったり形状に異常が見られる場合は、新しい押え材に交換してください。